

山田 祥寛
YAMADA, Yoshihiro

ASP.NETでの サーバーサイドプログラミング

サーバーコントロールを使ってみよう

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other: MSDE 2000

Level

Samples

レガシーな Webアプリケーション

「.aspx」ファイルに含まれるデフォルトのHTML要素は、サーバー側においては単なる「平のテキスト」にすぎません(図1)つまり、通常のHTMLはクライアントに送信されてはじめて、文書の構成要素 (Document Object) として、意味をもつのであり、サーバー上においては「<select>」も「<input>」も単なる「やまだよしひろ」のような

文字列と、機能的にはなんら変わらないのです。

にもかかわらず、特集1の「Webアプリケーションのイベントドリブンを理解する」のupload.aspxではページをロードしたタイミングでコンボボックスに値をセットしたり、ファイルフィールドで指定されたパス名に直接アクセスしたりといった動作を、「サーバー側」で当然のように行なっていたのです。

これは、ASP.NETで導入された「サーバーコントロール」によってもたら

図1: タグもサーバーではただのテキスト



